



index

代表挨拶

「感謝」そして
「次のステージ」へ

1面

特集

ゆめっと
フォーラム2005
開催される

2・3面

シリーズ(木)

ゆめっと京都
加盟団体を
訪ねて

4面

お知らせ

ゆめっと京都
事務局より

4面



代表 神崎 清一

「感謝」そして「次のステ

先日多数の参加者を得て実施されましたフォーラムならびに多くの団体間のネットワークによって取り組まれましたファンド事業をはじめとした2004年度のゆめっとの諸事業が、会員団体の皆様のご協力と役員の方々のお働きによって、実りあるものとして進められましたことを心より感謝申し上げます。また、災害復興支援のボランティア活動をはじめそれぞれの事業をとおして、団体やメンバー間のネットワークの構築への歩みがなされた一年であったことを憶え、次のステージへと歩んでいますことを確信するものであります。

皆様の所属される団体・グループはそれぞれ大きなお働きをされているものでありますが、ゆめネットはその存在を生かし、京都市内の青年団体のもつ大きな財産であります人、情報、働きやエネルギー、そして「ゆめ」を繋ぐというネットワーク作りが使命であると考え、歩みを強めることが必要と考えています。

さて、皆様も良くご存知のマザーテレサが、よく引用し、部屋の壁に張ってあったという「人生の意味を見つけるため逆説の十カ条—それでもなお人を愛しなさい」をご存知でしょうか。これは1960年代にハワイの大学生であったケント・M・キースという青年が、自分自身の経験に基づき高校生や大学生へのメッセージとして作り訴えていたものが、世界を駆け巡り、マザーテレサもが知るものとなり、更に広く知られるようになったものです。それだけ広がっていることを本人は知らず、最近知人から指摘され驚きであったようです。以下にいくつかを紹介します。

1. 人は不合理で、わからず屋で、わがままな存在だ。
それでもなお人を愛しなさい。
2. 何か良いことをすれば、隠された利己的な動機があるはずだと人に責められるだろう。
それでもなお、良いことをしなさい。
3. 成功すれぼうその友達と本物の敵を得ることになる。

4. 今日の善行は明日になれば忘れられてしまうだろう。
それでもなお良いことをしなさい。
5. 人は弱者をひいきにはするが、勝者の後にしかついていけない。それでもなお、弱者のために戦いなさい。
更に、「最大の考えを持つ最も大きな男女は、最小の心を持った小さな男女によって撃ち落とされるかもしれない。それでもなお大きな考えを持ちなさい。」という項目があります。小さな人とは、地位が低いとか、お金がないとかという意味ではなく人生を小さな目で見てしまう人を指しています。そして、大きな考えが生命を助け、自然環境を守り地域社会を築いてきたとし、ナイチンゲールが赤十字をつくり、シカゴの弁護士ポールハリスが3人で始めたクラブがロータリークラブとなり、1840年代にロンドンの一青年たちが始めたグループがYMCAとなってきたこと、大きな考えは大きな違いを作り何億人という人々の人生の質を高めてきたとしています。

私たちのゆめネットワークについても、大きな考えをもち、つまり夢を抱くことによって考え方の焦点や方向性が見出され、努力する目標が与えられるのではないのでしょうか。

夢の実現に向けて、次のステージへ共に歩み続ける一年となりますようにご参画のほどよろしくお願いたします。